

一般質問通告書

受領日時 令和2年11月30日 午前9時45分

8番 氏名 畑澤 洋子

質問項目	質問の要旨
1 認知症による徘徊と行方不明。人生の総仕上げにふさわしい安心安全の生活を	<p>① 町での徘徊による行方不明者数は。(2012年に集計が始まってからの数) 認知症による徘徊などの家族からの相談件数は。</p> <p>② 大館市「長寿課」は「高齢者見守りシール事業」を推進している。「QRコード」を活用した同事業を町でも開始してはどうか。</p> <p>③ QRコードシールと合わせて兵庫県三田市のGPS端末を貸与する事業も採用してはどうか。</p> <p>④ 静岡県浜松市で行われている「地域包括支援センターを主体とし、地域住民や小中学生に認知症高齢者への声掛け訓練」の実施を。</p>
2 コロナ禍の独居老人の孤独死と自殺ゼロ対策を	<p>① 町での孤独死の現状。亡くなってから発見されるなどの件数は。 コロナ禍の自殺件数が全国的に増えている。町ではどうか。</p> <p>② 今一度、家庭訪問を通して小さな変化も見逃さず、困っているところに手を差し伸べる対応を。</p>
3 免許返納後の高齢者を支える全町「無料巡回バス」試行運行を	<p>① 今後、高齢者が増え、免許返納者が増える状況を考えれば、生活の質を落とさず余生を過ごすことが出来るように準備が必要だ。現在の予約式乗り合いタクシー・南秋地域広域マイタウンバス・南秋地域デマンド型乗り合いタクシーの他に、次の構想はあるか。</p> <p>② 高齢者のフットワークを軽くするには、無料の路線バスが必要だ。八峰町で試行運行中の巡回バスを町でも試してはどうか。</p>
4 行政手続きにおける押印廃止と書面主義の見直しを	<p>① 国において進められている99%の押印廃止について、町の行政文書でも廃止リストの洗い出しを積極的にしていくべきだ。すでに国の動きに合わせて準備を進めていると思うが、具体的な取り組み状況は。</p>